

令和4年5月20日(金)

## 令和4年度滋賀県レイカディア大学同窓会定期総会(文書議決)

### ダイジェスト版兼議事録

甲賀・湖南支部 村上多津美  
本部 事務局長 藤田 順一

開催日時：令和4年5月11日(水) 13:30~16:05

開催場所：滋賀県立長寿社会福祉センター レイカディア大学草津校 大教室

出席者数：89名、リモート出席者5名 計94名

#### 第1部 定期総会次第と概要

- 1 開会のことば 司会者 本田秀信(甲賀・湖南支部)
- 2 物故者への黙禱 全員起立 令和3年度に亡くなられた同窓会員15名に対し黙禱
- 3 レイカディア賛歌 コロナウイルス禍の為、三番迄、黙唱 全員着席

#### 4 会長挨拶 堀江勇夫 会長(中部支部)

令和3年度はコロナウイルス禍の為、全てうまくいったとは言えませんが、レイカディア大学40周年記事等、会員・役員の皆様のお力添えを頂いたおかげで、ほぼ満足のいく活動が出来たと思っています。

令和4年度は役員改選の年です。私は続投する事になりましたが、誠心誠意努めますので宜しくお願い致します。

今日は議事が終わりましたら、日野町音羽の「さつき寺」と言われる雲迎寺(うんこうじ)のご住職であり、落語家の「てんご堂雅落」様を迎えして皆さんに楽しんで頂こうと思っています。【要約】

- 5 長寿者慶祝 慶祝者33名を代表して代表 齋藤治子さん(大津) 祝詞と記念品贈呈 堀江会長  
\*他の慶祝者(昭和10年生まれの米寿の方)は各支部の総会にて実施済  
(司会) 慶祝者の皆様、今後とも益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。

#### 6 来賓祝辞 滋賀県知事 三日月大造 様 代読 健康福祉部 医療福祉推進課 課長 飯田朋子様

『新緑のさわやかな季節、滋賀県レイカディア大学同窓会の令和4年度定期総会が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。皆様におかれましては、日頃から、レイカディア大学の運営に対し、多大な御支援、御協力を賜り、誠にありがとうございます。また、卒業後もそれぞれの活動を通じて豊かな

地域づくりに御尽力いただき、深く感謝申し上げます。

さて、本県では、明治5年9月29日を「滋賀県誕生の日」としており、今年9月29日にはそれから150年の節目を迎えます。この記念日は、近江国の南部を管轄していた旧滋賀県が、北部を管轄していた犬上県と合併し、現在と同じ地域の滋賀県が誕生した日とされています。

この県政150周年を広く周知し機運を高めるため、「ずっと滋賀、もっと滋賀」をキャッチフレーズとして、これまでの滋賀の歴史を学び、先人の努力を振り返り、滋賀に一層誇りや愛着を持つとともに、

未来を考える一年とし、この節目の年を皆様と共に盛り上げていきたいと考えております。

同窓会員の皆様におかれましては、レイカディア大学在学中はもとより、生涯を通じて培われた皆様の豊富な知識や経験を生かして、地域での活動を実践されています。まさに、よき先人として、地域づくりの

リーダーとして御活躍される皆様の存在は、県としても大変心強く感じております。県政150周年を契機に、多くの方に滋賀に一層の誇りや愛着を持ってもらえるよう、皆様の取組を通じて、お力添えを賜りますよう

お願い申し上げます。

結びに、滋賀県レイカディア大学同窓会の今後ますますの発展と、会員の皆様の御健勝、御多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。 【全文】

令和4年5月11日 滋賀県知事 三日月 大造 』

**来賓祝辞** 滋賀県社会福祉協議会 副会長 奥山光一様

『【お祝い・御礼の言葉省略、以下要約】今年、滋賀県社会福祉協議会70周年を契機として、10月にアクティブシニアの活動拠点をアルプラザ彦根に開設すべく、準備を進めております。居心地が良い、くつろげる空間という意味の「COZY TOWN」という名をつけ、レイカディア賛歌の歌詞にある「ともに学ん、ともに遊ばん、ともに生きなん」を実感できる空間を創っていきたいと考えています。

レイカディア大学についても、米原校を「COZY TOWN」へ移転し、ここを彦根キャンパス、今の草津校を草津キャンパスとして、同じ大学としての一体感がより感じられるよう運営してまいります。

また、短期講座「SLEC（しがレイカディアエクステンションカレッジ）」を開設します。この講座では「今日用がある、今日行くところがある（教養と教育）」を楽しむ様々なプログラムを計画しております。同窓会の皆様にも企画・運営などご協力いただき、内容の充実を図っていきたくと考えております。皆様にも是非とも受講いただきたく存じます。』

## 7 議長選出

会則に「議長は、出席会員の中より選出する」と規定されているが『事務局一任』の声があり、今岡事務局長が『議長に市井眞一（甲賀・湖南）、並びに議事録作成者に村上多津美（甲賀・湖南）』を指名。

**来賓のお二方、公務の為、ここで退席**

## 8 議事

### 第1号議案 令和3年度事業報告

#### I、活動の総括 報告者 会長 堀江勇夫

令和3年度は”同窓会40周年記念事業実施年度を意識しよう“をモットーに掲げた

一、あるべき姿に近づけていけるよう努める

- 事務局員の設置
- 常任理事会・理事会への顧問の出席頻度の向上
- 役員改選時に、選考委員会を設置

二、同窓会の予算及び事業計画は、5年・10年の中・長期的な視座に立ってなす

- 同窓会会報「つながり」の自主編集とコストダウン
- 創立50周年記念事業目的積立金を創設
- HP運営講習会の実施とWEB会議の導入

三、母校と同窓会の充実と発展は、大学・サポートの会・同窓会・えにしの会が互いに「共創意識」を持って、シェアリングする

- 大学は、建学の精神の遂行

- サポートの会は、学校運営・学生活動の支援
- 同窓会は、会員活動（親睦・健康の増進・社会貢献）を通じて母校の発展に寄与
- えにしの会は、卒業生を中核に全県的な社会貢献活動
- 県社協・各組織企画事業への積極的協力と相互参加

四、性別に偏りのない多様な人材に活躍してもらえる“風土づくり”は、道半ばと言えます  
【詳細省略】

五、会員は「親密」に、活動は「緻密」に、連携は「綿密」にの「三密」で企画委員会・実行委員会の立ち上げと計画事業の完遂を果たした  
【詳細省略】

以上総括と致します【要約】

## II、各部会の活動報告 【全て要約】

**総務研修部会** 報告者 部会長 小島治

1. 令和3年度定期総会の開催（担当支部/湖北）令和3年5月26日（水）13:30～15:00  
出席者数 27名 リモート参加 18名 その他 4名 合計 49名（基本役員のみでの開催）  
初めての試みとしてHP管理班による、リモート参加が実施された
2. 第43期生学生募集活動 6月1日～8月10日まで募集要項配布を行った  
草津校 149名（定員 145名） 米原校 61名（定員 70名） 合計 210名
3. 無料必修講座の受講はコロナウイルス禍の為中止

**地域活動部会** 報告者 部会長 奥長裕幸

1. 地域活動の継続と拡大
  - ・草津、米原両校の「レイカディアの日」「コスモアースコンシャスクリーンキャンペーン」はコロナ禍のため縮小実施・延期となる。
  - ・「美しい湖国をつくる会」活動に参加
  - ・環境美化活動に大津支部が、小学校・幼稚園・児童クラブの校庭環境美化活動として参加した。
  - ・湖岸清掃活動に草津・栗東、近江八幡、湖北の各支部が参加
2. 第13回地域活動事例発表会の開催  
11月15日ひまわり館で開催。8支部8名が発表。参加者 120名
3. 43期生地域活動体験学習ガイダンスへの参画  
3月24日米原校 60名 3月25日草津校 142名

**広報情報部会** 報告者 部会長 藤田順一

1. 学習成果展示会に同窓会紹介パネルを展示 11月17日米原校 3月4日草津校
2. 40周年記念特集号として會報「つながり」38号を発行 発行日2月1日

<HP管理班> 報告者 管理班長 野川篤美

1. 會報「つながり」創刊号から30号までをPDFファイル化
2. 40周年記念DVDの制作
3. 本部HPのYouTubeのIDを個人管理から同窓会のIDに移行
4. HPの随時更新

**40周年記念事業実行委員会** 報告者 実行委員会 奥長裕幸

1. 支部対抗記念グランドゴルフ大会は8月各施設が使用不可で開催を危ぶまれたが、会員の熱意により12月1日長浜バイオ大学ドームで開催出来た 参加者 133名
2. 記念式典 12月17日 滋賀県男女共同参画センター 参加者 138名

## III、具体的な活動内容

事務局・40周年記念事業実行委員会・総務研修部会・地域活動部会・広報情報部会・HP管理班

【全て省略】

第2号議案 令和3年度収支決算報告及び監査報告

決算報告 報告者 藪 健治 前会計

収入の部・支出の部 【共に省略】

質疑 収入の部 雑収入決算額と摘要の合計金額が不整合

応答 摘要欄の利息3円を7円に訂正

収入合計 1,320,90円—支出合計864,491円=50周年積立金50,000円+次年度繰越金406,416円

監査報告 児玉 正孝 監事 収支決算書・証拠書類・諸帳票等の監査を実施したところ  
いずれも適正に処理されていることを報告。

第1号議案・第2号議案一括審議の結果、賛成多数で承認を得た。

第3号議案 役員改選（案） 及び 新役員紹介

会長 堀江勇夫（留任・中部） 副会長 小島 治（新任・守山野洲）濱口勝司（新任・近江八幡）

事務局長 藤田順一（新任・大津） 会計 須藤 豊（新任・中部）

監事 藪 健治（新任・草津栗東）奥長裕幸（新任・湖北） 挙手にて信任、（案）削除。

新役員は登壇し、拍手を受ける。

第4号議案 令和4年度事業計画（案）

I. 活動の基本方針 発表者 堀江勇夫 会長

ポスト“創立40周年記念事業年度”に“新しい風”を吹かせよう!!

- 1, これからの世の中は「With コロナ」、同窓会も世の中の変化の受け入れに挑戦していきます。
- 2, 定年制の延長の為、入学応募者の高年齢化は避けられないでしょう。
- 3, デジタル社会の進化は必然。HP運営の立ち位置の重みは、益々大きくなるでしょう。
- 4, リモート会議と対面会議のバランス感覚が求められます。意思決定と現地活動の均衡ある仕組みの模索が求められるでしょう。
- 5, Woman・Man パワーのシンパシーこそ大切です。同窓会の様変わった姿を期待しましょう。
- 6, 母校の有り様は、社会ニーズに答えられているのか。建学の精神は堅持しながらもカリキュラムの編成、学舎の環境立地に於いて、変革が為されようとしています。入学階層の変化やデジタル社会の熟度の応じた、フルモデルチェンジを期待する声の高まりがうまれてくるでしょう。

以上、新役員ならびに会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。 【要約】

II. 令和4年度、各部会の活動計画 【全て要約】

総務研修部会 発表者 小島 治 副会長

1. 令和4年度定期総会の開催 5月11日 担当支部 甲賀・湖南支部
2. 第44期学生募集応募要項の配布活動 期間 6月1日～7月29日
3. 「無料必修講座」の聴講

地域活動部会 発表者 奥長裕幸 監事

1. 草津、米原校サポートの会主催行事に母校支部より参加  
「美しい湖国をつくる会」活動への積極的参加
2. 「第14回地域活動事例体験発表会」の開催
3. 「地域活動体験学習」ガイダンスへの参画

広報情報部会 発表者 藤田順一 事務局長

1. 会報「つながり」39号の発行 夏号は休止する
2. 同窓会紹介パネルの写真入替および展示作業
3. 同窓会新入会者のための同窓会紹介パワーポイントの更新

〈HP 管理班〉 発表者 野川篤美 HP 管理班長

- 1, ホームページの随時更新
- 2, 管理担当者の交代時の引継ぎルール見直しと支部内サブ担当者配置の検討
- 3, バックアップデータの保管環境の設定 (本部、支部ごとのデータ保管)

質疑 提案として、リモートで知事との対談の企画・「レイカディアの日」で琵琶湖岸清掃の意見が出た。

### 挙手多数で承認、(案)の抹消

**第5号議案** 令和4年度収支予算書(案) 発表者 藪健治 前会計

収入・支出の部 【共に省略】

質疑多数 金額の誤記数ヶ所の指摘があり、議長が再説明を求める。

応答 この場では計算に時間がかかり、堀江会長から令和4年度収支予算書に関しては執行部で再提案し承認を得たいとの申し出があり、了承された。

\*第1回理事会で訂正説明と訂正資料配布をして承認を受ける

**議事終了** (予定をオーバーして15:10)

**議長解任** 市井眞一 議長の降壇。皆様の拍手。

**閉会のことば** 藤田順一 事務局長

**記念講演の準備 演壇の撤去、高座の準備など**

## 第2部 記念講演 (スタートほぼ15:20)

講師 落語家 てんご堂雅落 <sup>がらく</sup> またの名を 雲迎寺 (別名さつき寺) 住職 <sup>くし</sup> 久志 <sup>そくぎょう</sup> 則行

### 講師のプロフィール

京都産業大学卒業後2年間のサラリーマン生活を経て、1988年に大学の先輩笑福亭鶴瓶に弟子入り。瓶太の名でお茶の間に親しまれたが、2016年に一門を離れ、てんご堂雅楽に改名した。

「落語家を辞めて1カ月後くらいに、ある法要に呼ばれて顔を出したんです。そこで今の師匠である僧侶と知り合いました。何気なく『自分のような人間でも仏門に入れるのか』と訊ねてみたら『その気があるなら弟子にしますよ』と言ってくださった。そこで、妻と相談して『この際だからぜひお願いしよう』ということになったんです。まさか自分が仏門に入るなんて、思ってもみませんでした」

3年間の修行は2019年12月に終了。56歳で晴れて僧侶となり、先代が亡くなって以来ほぼ10年間住職がいない「無住寺」状態だった雲迎寺の第20代住職に就くことになった。

### 演題 「笑って元気にほがらかに！」

議事が長引き、20分遅れの開演であったが、観客の一举手一投足を見逃さず、笑のネタにされ、我々を笑いの中に引きずり込んでいかれた。「笑いは百薬の長、人間にとって最高の薬」というのがテーマの落語であるが、久しぶりにお腹のそこから笑うことができました。講演の様子はYouTubeにアップされています。

「少々時間が短くなっても、決められた時間に終わるのがプロです。」と言っておいて、4:05に落語を締めくくったのは、雅落さんの茶目っ気であると感じました。

以上